

支援する会ニュース

2022.7.7 NO. 88(最終版)

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

韓国サンケン労組の闘いは永遠！私たちは一つだ！

7月6日、韓国サンケン労組の闘いは妥結しました！組合員の団結と命がけの闘いが生んだ勝利的解決です。ハン



スト14日目の労組員には、血圧や血糖値に異常をきたし視力に問題を起す極限の状態にあったようです。

昌原・馬山での24時間テント座り込みから723日、ソウル・サンケン 코리아 前でのテント籠城147日目、APTC占拠16日でした。

韓国サンケン労組の皆さん、お疲れ様でした！皆さんの闘いは私たちの心の奥底に深く残ります。6年前に知り合った私たちでした。

皆さんの闘いがあったか

らこそ私たちの闘いがありました。私たちの闘いが皆さんを励ましたなら、それは喜びです。私たちは一つです！

6月30日の第87回木曜行動は延べ100人の参加で行われました。埼玉市民の会では7月1日から5日まで連続して本社前スタンディング行動を行いました。土曜日、日曜日にも、猛暑の中、雨の中でもハンスト中の韓国サンケン労組と連帯して行動しました。争議解決後、韓国サンケン労組の皆さんはまずハンストで衰弱した体調を整えることになり、地元の昌原・馬山に戻ります。以下は、木曜行動の報告です。

【第87回木曜行動】

本社前で全統一労組佐々木書記長のアピールで行動開始。韓国からキムウニョンさんが、会社側から接触があったが29日に決裂したと報告、「サンケン電気は謝罪すべきだ。私たち自らが5階から降りて行くことはない。きちんとした話し合いが行われるまでハンストを続ける」と語りました。キムヒョンガンさんも「籠城とハンストを止めるには、警察による排除か救急車か、それ以外にない。サンケン電気が真摯な態度で話し合いをすれば降りて行く」と発言。韓国からはオヘジンさんもアピールしました。志木駅南口前では、埼玉市民の会のアピールで行動開始。韓国からイソニムさんが「サンケン電気は『雇用関係が無いから関係ない』というが、それはあり得ない。皆さんもサンケン電気に声を寄せてください」と訴えました。韓国

からキムウニョンさんとペクウンジュさんもアピール。ノレの会、ゆいの会の歌、支援する会の「サンケン電気は覚悟しろ」の8拍子パフォーマンス。明大生協労組の締めで終了。池袋・東京事務所前は渡辺共同代表の挨拶で開始。韓国からオヘジンさん、キムヒョンガンさんもアピールしました。埼玉市民の会、尾澤邦子さん、韓統連、群馬合同労組、武蔵学園労組のアピール、コールで終了。



尾澤裁判に勝利しよう

初公判の日程は11月の予定です。7月7日には第9回公判前手続が行われます。公正な裁判を求めるハガキ・署名運動は引き続き取り組んでいます。

※支援する会のニュースは、これが最終号です。これまで多大なご支援を寄せくださった労組、団体、皆さんに深く感謝します。ありがとうございました！

